



平井小学校だより

令和8年2月27日 第14号



学校教育目標

平井大好き！ふるさとに誇りを持ち
学び合い 支え合い とともに未来を切り拓く児童の育成

共感力

挑戦力

やりぬく力

文責 木村幸一

児童のがんばりを後押しして下さった保護者、地域の皆さまへ感謝！

1月28日(水)、冬の恒例行事「持久走大会」を開催しました。児童たちは冷たい風にも負けず、力いっぱいコースを駆け抜けました。今年も多くの保護者や地域の皆さまが沿道に立ち、温かな声援を送って下さいました。ありがとうございました。

スタートの合図とともに、真剣な眼差しで走り出した子どもたち。苦しい表情を見せながらも、応援の拍手や「がんばれ」の声に背中を押され、最後まで走り抜く姿が印象的でした。さすが、平井の子どもたちだと改めて感心しました。



大会終了後、子どもたちからは、「がんばれの声で力が出た。目標が達成できてうれしい。」「苦しかったけど、応援の声が力になった。」といった声が多く聞かれ、皆さまの応援が大きな励みになったことが伝わってきました。児童一人ひとりの達成感と自信に繋がったと思います。たくさんの応援をありがとうございました。

ご家族でメディアとの付き合い方について考えてみてください

昨年末に実施した「心のアンケート」から、子どもたちのメディアとの関わり方について、いくつか気になる傾向が見えてきました。

「家庭で自由に使えるスマートフォン・携帯電話を持っている」と答えた児童は全体(126名)の約50%(63名)、「パソコン・タブレット」は約35%(44名)、「通信機能付きのゲーム機」は約57%(72名)にのぼりました。また、「家庭で自由に使える情報通信機器で、家庭での決まり事(ルール)がありますか?」という質問に対して、3年生以上(76名)の約30%(23名 昨年度より3%増)が「ない」と回答しています。さらに、「勉強以外で、平日に3時間以上、SNSや電話、メール、ゲームなどをしている」と答えた児童も約38%(昨年度より26%増)いました。

スマートフォンやタブレットなどの情報機器は、私たちの生活を便利にしてくれる一方で、使い方を誤ると心や体の健康に影響を及ぼしたり、インターネット上のトラブルに巻き込まれたりする危険もあります。特に小学生のうちは、判断力や経験がまだ十分ではないため、大人の見守りやサポートがとても大切です。

お子さんが安心して情報機器と付き合っていくためにも、今一度、ご家庭でのルールや使用状況について話し合ってみてはいかがでしょうか。時には、通信内容や利用時間を一緒に確認することも、保護者としての大切な役割のひとつです。

ご家庭と学校が連携しながら、子どもたちの健やかな成長を支えていけたらと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



平井小も1月から『荒尾市児童見守りサービス』が始まっています！

登校及び下校のタイミングで児童用学習タブレットから保護者のスマホ等にメールが届くサービスです。96%の保護者の皆様が、保護者用端末(スマホ等)の初期設定を完了していただいておりますが、実際に登校・下校メールが配信されている数がそこまでありません。約2カ月使ってみて、児童用学習タブレットの定期的なアプリ再起動も必要であることが分かりました。『誰もが安心して子育てできる環境づくり』をさらに一歩進めるため、各ご家庭でも今一度のご確認をお願いします。

◇詳しくは、こちらをチェック⇒

